

世界遺産学習だより

大田市教育委員会石見銀山課

（世界遺産学習担当）

Tel 0854-82-1600(内線 338)

E-mail isan-gakushu@iwamigin.jp

市内小中学校の銀山学習、ポスター展示

世界遺産登録5周年のフォーラム・式典の会場、多数の市民が観覧

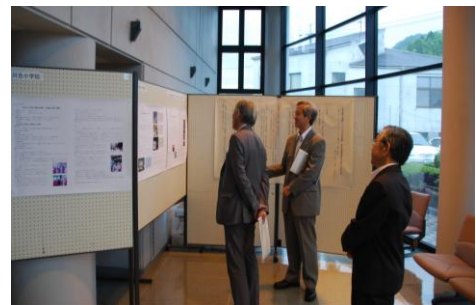
6月30日(土)と7月1日(日)の両日、石見銀山遺跡の世界遺産登録5周年を記念したフォーラムと式典がサンレディー大田で開催されました。両日合わせて延べ700人が参加。テーマは「持続可能な世界遺産」。これから先、石見銀山遺跡をいかに守り伝えていくかが議論されました。

会場のロビーには石見銀山基金事業に採択された市内小中学校23校と民間団体の活動成果がポスター展示されました。



小中学校のポスター展示を見る市民のみなさん

フォーラムや式典の前後、休憩時間などに多数の市民に見ていただきました。小中学校が石見銀山学習を熱心に進めていることをご理解いただけたと思います。



教育長、文化庁長官と知事にポスター展を案内

温泉津中、今年も櫛島で清掃活動

7月4日(水)、世界遺産にも登録されている温泉津湾口の櫛島で、草刈りや清掃作業が行われました。町民約20名と温泉津中の教職員・全校生徒約70名が参加しました。島には戦国時代、温泉津地域の領主であった温泉氏(ゆし)が築いた城跡が残っています。

およそ2時間の作業で海辺のごみはきれいになり、草刈りによって城跡もよく見えるようになりました。温泉津中学校の櫛島清掃活動は、毎年の恒例となっています。



櫛島海岸で清掃活動(温中提供)

温泉津の町並みで銀山学習～三瓶周辺3小学校

三瓶周辺の3つの小学校(北三瓶・池田・志学)の児童5,6年生35人が、7月4日、現地学習を行いました。この町は、文字通り温泉と港がドッキングしてできた町。平成16年に重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。

子どもたちは、「松山の道標」をはじめ、やきもの館、元湯、廟式墓地のある恵瑠寺、船問屋の遺構を引き継ぐ内藤家などを、ガイドの説明を聞きながら、見学。午後は沖泊に足を運び、この日の学習を終えました。



沖泊でガイドの説明に耳を傾ける

世界遺産教育は可能か～石見銀山に関する図書紹介④

〈田淵五十生著 東山書房 2011年発行〉

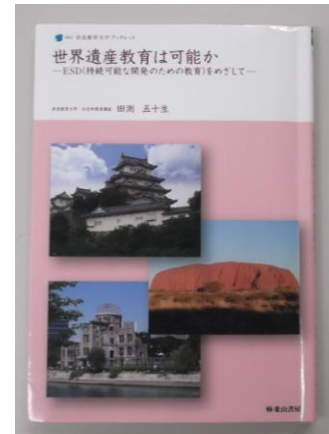
直接石見銀山に触れてはいないが、銀山学習（世界遺産学習）を行うにあたって欠かせない視点を教えてくれる。

著者は奈良教育大学社会科教育講座で長年教鞭をとり、近年は奈良市世界遺産学習推進委員会の委員長を務めるなど、わが国の世界遺産教育を牽引する一人である（2011年から福山市立大学教授）。

現在、地球規模で資源の枯渇、環境の悪化が進み、人間を含むすべての生物の生存が危機にさらされている。国連では、こうした状況を背景に持続可能な社会の構築を全世界に訴えている。教育の面では、「持続可能な社会の担い手を育む教育」（ESD=Education for Sustainable Development）が必要であるとして、2005年からユネスコがその普及に取り組んでいる。

著者は、ESDの道具として世界遺産学習はたいへん有効である、世界遺産学習を進めていくことが、持続可能な社会の実現を可能にする、と訴える。奈良市教育委員会、奈良国立博物館と連携して、世界遺産を通してESDに迫る実践も推進してきた。

この本には、著者の世界遺産教育、ESDに対する考え方、実践例がコンパクトにまとめられている。市立図書館にもあるが、書店でも手に入る。1000円（税込）。



石見銀山課からお知らせとお願い

■ 学習計画はお早めに。現地学習は秋に集中しています

今年度、現地学習を予定している22校中15校（およそ7割）が9月～11月に集中しています。人気の大久保間歩入坑は10校が予定。日程が重なる可能性もあります。現地学習計画書は1ヶ月前の提出をお願いしておりますが、できるだけ早めに出されることをお勧めします。重なった場合でも、変更が比較的容易です。

■ 銀山学習の現地学習計画を共用フォルダーへ

1学期で現地学習を済まされた学校が6校あります。以前からのお願いですが、終了後、その都度現地学習計画書を **共用—銀山学習—石見銀山現地学習実施計画書（実施済）** へ入れていただけませんか。他の学校の参考になればと思います。

□□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□

- 8/02 市教研「総合的な学習部会」夏季研修会 「自校の授業に生かせるワークショップことはじめ」。講師は県文化財課世界遺産室主任 角俊一氏。会場は大森小学校と大森の町並み。
- 8/04 仁摩高校 「熊谷家を学び、日本文化と石見銀山の歴史を知る」というテーマで、異文化理解クラスの3年生が自炊体験を行う。元大田市 ALT Joy Vicente さん（駐日カナダ大使館勤務）も特別参加。
- 8/04 世界遺産センター公開講座『戦国時代の通貨流通～三貨制度成立前史』 13時30分から世界遺産センターで開催。講師は東大桜井英治先生。戦国時代における貨幣としての銀の役割と変遷を紹介。
- 8/06 新採用・新転入教職員研修 大田市で新規採用になった方、大田市へ初めて赴任された方が対象。大久保間歩、釜屋間歩の見学のほか三瓶自然館などで研修。